



Title	大阪大学アーカイブズニュースレター 第9号
Author(s)	
Citation	大阪大学アーカイブズニュースレター. 2017, 9, p. 1-12
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/60551
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

目次：

アーカイブズのモノ資料	1	業務日誌（抄）	10
国立大学におけるアーカイブズ ーこれまでとこれからー	2	『金森順次郎第十三代大阪大学総長回顧録』 を刊行	11
基礎セミナー 「アーカイブズの世界に触れる」の開講	4	兼任教員一覧	11
受贈刊行物	5	運営委員会委員一覧	11
		利用案内 等	12



アーカイブズのモノ資料

大阪大学アーカイブズが所蔵している資料のほとんどは文書ですが、所蔵資料は文書に限定されません。写真は1986年10月19日に行われた200回記念飛鳥万葉旅行の際の貸切電車のヘッドマークです（万葉旅行については、『大阪大学文書館設置準備室だより』第9号、2011年、参照）。大阪大学アーカイブズが所蔵している万葉旅行に関する資料は、テキスト、写真、色紙、記念品等多種多彩です。資料を形態で分けるのではなく、資料群としてのかたまりを重視するのはアーカイブズの原則です。（菅 真城）

国立大学におけるアーカイブズ —これまでとこれから—

京都大学大学文書館 教授 西山 伸



はじめに

2011年4月施行の公文書等の管理に関する法律（公文書管理法）によって、国立大学におけるアーカイブズは大きく変化した。本稿では、アーカイブズに関する基本的事項を確認したのち、筆者が勤務している京都大学大学文書館の業務について具体的に紹介し、組織におけるアーカイブズの意義について考えてみたい。

1. アーカイブズ (archives) とは何か

アーカイブズという言葉は、ネット上やテレビ番組をはじめ、近年使われ方が著しく広まっているが、とりあえずオーソドックスな定義を確認しておく、以下のようになる。

- ① 組織または個人がその活動のなかで作成または収受し、蓄積した資料で、継続的に利用する価値があるので保存されたもの。
- ② ①が保存され、閲覧利用できる建物、施設。

①は個々の史料を指し、②はその史料を保存する建物や施設を指しているが、本稿ではアーカイブズという語を主に②の意味で用いている。

京都大学大学文書館にしても、大阪大学アーカイブズにしても、国立大学法人に属するアーカイブズである。こうした組織におけるアーカイブズでは、自らの組織が作成または収受した文書（組織文書、国立大学法人では法人文書）が長く保存され公開されることが求められる。なぜなら、組織文書とはその組織の軌跡を最も系統的かつ総合的に示すものだからである。

一般的に、組織がアーカイブズを設ける目的としては次の三つが考えられる。第一は、組織の円滑な運営のためである。業務の記録が整理

された形で蓄積され、それが日々の政策判断に生かされて初めて組織の円滑な運営が可能となる。たとえ形としてのアーカイブズが設置されていない組織でも、こうしたことは実践しているはずである。第二は、自らの組織の歴史を残すためである。これは、沿革史編纂や歴史展示製作につながる場合もある。そして第三は、組織の情報を広く社会に公開するためである。日本における大学アーカイブズは、1980年代から90年代にかけては第二の沿革史編纂と密接な関係をもっていたが、近年は第三の情報の公開や大学の存在理由の説明が目的とされるようになってきた。

2. 京都大学大学文書館

—国立大学アーカイブズの一例として—

京都大学大学文書館（以下「当館」）は、2000年11月に設置された。職員としては、館長（兼任）、教授1（兼任）のほか、専任の教員として教授1、助教2、事務を担当する再雇用職員1、それに事務補佐員6が配置されている。施設としては、京都大学の本部構内から徒歩10分ほどの距離にある大学文書館本館、展示室や一部の書庫などがある百周年時計台記念館のスペースなどがあり、合わせて床面積は約4,000㎡である。

当館の主な業務は、①資料（学内各部局・部署の法人文書、学内刊行物、卒業生・元教員などの個人資料）の受入、②受け入れた資料の整理・公開、③調査研究活動、④広報教育活動、⑤その他（レファレンス対応、大学の諸行事への参加など）、に分けることができる。このうち根幹となる業務は、法人文書の受入・整理・公開である。

公文書管理法にもとづいて「国立公文書館

等」に指定されている当館では、毎年保存期間が満了となった法人文書の移管を受けている。その手順は次のとおりである。京都大学の法人文書は、保存期間満了前の最後の年度（例えば10年保存文書であれば10年目）に、当館に移送するか保存期間を延長して引き続き各部局・部署で管理するかが決定されることになっている。このうち、当館に移送すると判断された法人文書は、その年の夏に当館に運ばれてくる。

当館は、移送を受けた法人文書について、共に送られてきたリストと照合し、一致しない分に関しては移送元に照会を行う。照会が終了して移送分が確定すると、教員による評価選別作業を実施する。作業の結果は移送元に照会し、移送元との協議を経て廃棄文書が決定される。最近の例では、移送文書中8割程度が廃棄され、残りの2割が翌年度に当館への移管手続が執られ、目録を整備した後公開されることになる。こうした法人文書の移送から廃棄・移管まで、ほぼ10カ月を要している。

このような法人文書の受入・整理・公開に加え、大学史に関わる調査研究・教育・広報などが当館の業務ということになる。こうした業務は、全学性（全学の文書管理の一端を担う）、専門性（評価選別や目録作成などにおけるアーカイブ学的専門性と組織の軌跡を研究する日本近現代史の専門性）、継続性（組織が維持される限り必要とされる）という三つの特色を有しているといえる。

3. アーカイブズの意義

筆者は、アーカイブズの意義を対外的なものと同内的（対組織内）なものに分けて、次のように考えている。

- 対外的 ① 組織のもっている情報を広く社会に公開する。
- ② 資料にもとづき組織の存在理由を社会に示す。
- ③ 歴史研究のための基礎資料を提供する。

- 同内的 ① 資料の集中管理によって情報を保全する。
- ② 資料の集中管理によって業務の効率化をはかる。
- ③ 業務記録を蓄積し、現在の業務に役立てる。
- ④ 現用の文書管理に助言を行う。

公文書管理法に「国及び独立行政法人等の諸活動や歴史的事実の記録である公文書等が、健全な民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源として、主権者である国民が主体的に利用し得るものである」（第1条）とされているように、アーカイブズが公文書等を利用する国民の権利を保証するものであることは当然だが、それと同様に、アーカイブズが自らの組織にいかに関与するかという視点も重要ではなかろうか。

おわりに

組織におけるアーカイブズは、親組織にとって重要な役割を果たすことができるものであるが、そのために不可欠な条件がある。それは、親組織の現用文書が適切に管理されていて、なおかつアーカイブズと現用文書の管理を行っている事務組織との連携が十分取れていることである。現用文書の管理とアーカイブズにおける文書の整理・公開は、両々相俟ってその精度を高めていくものであることを強調しておきたい。

（本稿は、2016年9月14日の大阪大学法人文書管理に関するセミナーにおける筆者の講演をもとにしたものである）

基礎セミナー「アーカイブズの世界に触れる」の開講

大阪大学アーカイブズ 教授 菅 真城

大阪大学アーカイブズでは、平成28年度から全学共通教育基礎セミナーで「アーカイブズの世界に触れる」という授業を開講しました。基礎セミナーは新入生向けの少人数ゼミです。筆者が代表を務めたほか、飯塚一幸教授（文学研究科、アーカイブズ室長）、湯浅邦弘教授（文学研究科）、松永和浩准教授（適塾記念センター）にご担当いただきました。

以下、シラバスから「授業の目的・概要」と「学習目標」を転載します。

授業の目的・概要

現在では、「アーカイブズ」という言葉を耳にする機会が増えてきましたが、その意味を正確に説明することが出来ますか？例えば、『広辞苑』（第六版）では、「アーカイブズ」ではなく「アーカイブ」が立項されており、「古文書・記録文書類。また、その保管所。公文書館。」と説明されていますが、これで十分でしょうか？本セミナーでは、教科書を輪読するとともに、懐徳堂文庫・適塾資料という大阪大学の有するアーカイブズ資料の説明を受け、さらに大阪市公文書館・大阪府公文書館・大阪大学アーカイブズというアーカイブズ施設の見学を行います。

多様なアーカイブズの世界に触れ、それが過去を検証し、未来に資するには不可欠であることを理解してもらいたい。

学習目標

現代社会における記録管理・アーカイブズの意義を理解する。
アーカイブズ施設を利用できるようになる。

教科書は松岡資明さんの『アーカイブズが社会を変える 公文書管理法と情報革命』（平凡社新書、2011年）を用いました。各回ごとに担当章を指定しておき、予習を義務づけ、筆者との間で質疑応答する形式で進めました。「第2章 アーカイブズの宇宙」は後に回して、受講生に二つのテーマを選んでプレゼンを行わせました。湯浅教授には懐徳堂文庫について講義いただくとともに実際に附属図書館総合図書館内の懐徳堂文庫をご案内いただきました。松永准教授には適塾関係資料について講義いただくとも

にも大阪大学会館歴史展示室で開催されていた適塾関係資料の展覧会をご案内いただきました。飯塚教授には「利用者からみたアーカイブズ」をテーマに講義いただきました。大阪市公文書館・大阪府公文書館・大阪大学アーカイブズの見学は夏季集中として行いました。

受講生は、定員10人のところ3人（その他1人受講取消し）でした。成績評価は、「出席と授業への参加度（50%）、レポート（50%）を総合して評価する」として行いました。レポートのテーマは、「現代社会におけるアーカイブズの意義」としました。結果、3人全員に単位認定しました。

筆者は、平成25年度から経済学研究科の経済学特論（文書学Ⅱ）と経済学部各論（文書学Ⅱ）でアーカイブズ学の講義を行ってきました（学部は隔年で大学院と同時開講）。「アーカイブズの世界に触れる」はこれに続くアーカイブズ学の授業です。大阪大学におけるアーカイブズ学に関する授業は、管見の限りでは筆者が担当する二つのみです。

大学アーカイブズのエデュケーション活動としては自校史教育がよく取り上げられます。大阪大学アーカイブズでも全学共通教育先端教養科目で「大阪大学の歴史」という授業科目を開講しています。しかし、大学アーカイブズが自校史教育を行う意義や理由については、さらなる学問的研究が必要でしょう。一方、大学アーカイブズがアーカイブズ学の授業を行うことについては、教育研究機関である大学におかれたアーカイブズとしてより積極的に取り組まなければならない課題だと考えます。受講生たちに聞いてみると、アーカイブズという言葉は聞いたことがあってもその認知度は高くなく、ましてアーカイブズ施設を訪れたことのあるものはほとんどいません。日本におけるアーカイブズの認知を高めるために、大学アーカイブズが果たすべき役割は決して小さくないはずです。「アーカイブズの世界に触れる」と「文書学Ⅱ」は来年度も開講します。よりよい授業のために改善を図っていきたく考えています。

受贈刊行物 (2016年9月～2017年2月)

青山学院女子短期大学総合文化研究所

青山学院女子短期大学六十五年史 通史編

追手門学院大学経営学会

追手門経営論集 第22巻第1号

大阪女学院教育研究センター

大阪女学院教育研究センターNewsletter 第11号

学習院アーカイブズ

学習院アーカイブズニューズレター 第9号

学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻
アーカイブズ学専攻公開講演会「デジタルメモリーと
アーカイブズ資源開発ー中国における現状を中心
にー」(チラシ)、学習院大学大学院人文科学研究科アー
カイブズ学専攻 入試説明会(チラシ)、記録・情報管理
やアーカイブズに関する人材募集の情報をお寄せくだ
さい!!(チラシ)、記録を守り、記憶を伝える(パンフレット・
リーフレット)、記録を守り、記憶を伝えるスペシャリスト
「アーキビスト」を目指す。(チラシ)

神奈川大学資料編纂室

神奈川大学史資料集 第三十三集

金沢大学資料館

金沢大学資料館・石川県立自然史資料館企画展 キ
キー四高生が100年前に使った科学実験機器ー(チ
ラシ)、金沢大学資料館だより Vol.51、平成28年度金沢大
学資料館特別展 ガラスの博物館

関西大学年史編纂室

関西大学130年のあゆみ

京都産業大学広報部

京都産業大学キャンパスマガジンサギタリウス vol.73・74

京都大学大学文書館

京都大学大学文書館だより 第31号、京都大学大学文
書館企画展 京都大学における女性(チラシ)、京都大
学大学文書館企画展 京都帝国大学の「大学自治」(チ
ラシ)

近畿大学建学史料室

A Way of LifeーSeko Koichiー 世耕弘一先生建学史料
室広報 22号

熊本大学文書館

熊本大学史資料集 新聞に見る明治熊本の高等教育1
ー明治11年～明治27年ー

慶應義塾福沢研究センター

慶應義塾福沢研究センター通信 第25号

皇學館大学研究開発推進センター

平成27年度 皇學館大学研究開発推進センター年報
第3号

神戸国際大学学術研究会

神戸国際大学紀要 第91号、神戸国際大学経済経営
論集 第36巻第2号

神戸女学院史料室

學報 NO.178

神戸大学附属図書館大学文書史料室

神戸大学サテライト巡回展 神戸における海技術者教
育100年の歩み(前編)(チラシ)、平成28年度神戸大学
史・特別展 近代にみる港町の神戸大学ー神戸開港
150年記念ー(チラシ・ポスター)

国際基督教大学歴史資料室

国際基督教大学歴史資料室 特別展 アーキテクトと
ICU(チラシ)

駒澤大学禅文化歴史博物館

企画展「東臯心越と水戸光圀～黄門様が招いた異国の
禅僧～」(図録)、企画展「道教の世界」図録 駒澤大学禅
文化歴史博物館所蔵道教関係資料2、駒澤大学所蔵墨
蹟展 黄檗の伝来と江戸の禅宗(チラシ・ポスター)、駒澤
大学禅文化歴史博物館紀要 創刊号(平成27年度)

淑徳大学アーカイブズ

淑徳大学アーカイブズ・ニュース 第13号、平成28年度
淑徳大学アーカイブズ特別展 知的障がい児福祉の先
駆けー踏むな育てよ水そゞげ:久保寺保久と八幡学
園ー(チラシ・ポスター)、平成28年度淑徳大学アーカ
イブズ特別展図録 知的障がい児福祉の先駆けー踏む
な育てよ水そゞげ:久保寺保久と八幡学園ー

女子美術大学歴史資料室

女子美術大学歴史資料室ニューズレター TEXNH
MAKPA 第10号

成城学園教育研究所

成城学園教育研究所研究年報 第三十八集、成城教育 第173・174号

西南学院史資料センター

西南学院史紀要 第11号、西南学院史資料センター開設記念企画展 3人のドージャーからのメッセージ(パンフレット)

多摩美術大学研究支援部

多摩美術大学の80年 年表 1935-2015、多摩美術大学広報 TAMABI NEWS 第62~71号

筑波大学知的コミュニティ基盤研究センター

シンポジウム「図書館情報専門職養成史の再検討:組織記憶を構築する試み」(ポスター)

津田塾大学津田梅子資料室

津田梅子資料室企画展 女子高等教育を拓くー津田塾の原点を探るー(チラシ)

帝京大学総合博物館

帝京大学創立50周年・帝京大学書道研究所創設40周年記念特別展 日本書道文化の伝統と継承ーかな美への挑戦ー(パンフレット)

東海大学学園史資料センター

東海大学学園史ニュース No.11、東海大学七十五年史編纂だより 第3号、東海大学湘南キャンパス散策マップ

東京大学文書館

東京大学文書館ニュース 第57号

同志社女子大学史料センター

同志社女子大学史料センター 第21回企画展 新たな息吹 同志社女子大学京田辺キャンパス30年の歩み(チラシ)

同志社大学同志社社史資料センター

ハリス理化学館同志社ギャラリー第11回企画展 同志社社史資料センター新収蔵品展ー新島公義宛書簡等資料の紹介ー(チラシ・ポスター)

東北学院東北学院史資料センター

学校法人東北学院 東北学院史資料センター2016年度公開シンポジウム 学都仙台と戦争(チラシ・ポス

ター)、東北学院史資料センター 2016年度公開シンポジウム 恋するダンテ『神曲』の魅力(チラシ・ポスター)、東北学院史資料センター 2016年度公開講演会 鈴木義男と平和憲法(チラシ・ポスター)

東北大学史料館

東北大学史料館だより No.25、東北大学史料館企画展 学都仙台を支えた天財ー斎藤報恩会と東北大学ー(ポスター)

東洋英和女学院

史料室だより No.87、楓園 No.81・82

長崎大学

広報誌CHOHO Vol.57・58

日本女子大学成瀬記念館

国際人教育の原点ー伝統の調理実習(ハガキ)

日本大学企画広報部広報課(大学史)

日本大学大学史ニュース 第11号

広島大学高等教育研究開発センター

RIHE International Seminar Report No.24

武蔵学園記念室

武蔵学園史年報 第20号

明治学院歴史資料館

明治学院歴史資料館主催 明治学院礼拝堂献堂100周年記念講演会(チラシ)

立教学院展示館

理学部のこころみ 体感する理学展(チラシ)、立教学院展示館第2回企画展 世界に羽ばたくスポーツ文化「立教」の挑戦

和歌山大学自校史等資料保存活用作業部会

母校創立140周年記念 母校140年のあゆみ

あおぞら財団

あおぞら財団年次報告書 vol.18、資料館だより No.57(特別号)・58・59、全国シンポジウム「市民が進める温暖化防止2016」〜パリ協定と「排出ゼロ」をめざす〜(チラシ)、大阪の地域資料の保存と活用を考えるつどい(チラシ)、第4回 公害資料館連携フォーラムin水俣(チラシ)

旧制高等学校記念館

記念館だより 第70号

国文学研究資料館

ブックレット 書物をひらく1 死を想え『九相詩』と『一休骸骨』、ブックレット 書物をひらく2 漢字・カタカナ・ひらがな一表記の思想、ブックレット 書物をひらく3 漱石の読みかた『明暗』と漢籍、国文学論文目録データベース(パンフレット)、国文研ニュース No.45・46

国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター

古典籍共同研究事業センターニュース ふみ 第7号

全国大学史資料協議会

研究叢書第17号 「戦後70年」と大学史資料

全国大学史資料協議会東日本部会

大学アーカイヴズ No.55

帝国データバンク史料館

帝国データバンク史料館だより Muse Vol.28

人と防災未来センター資料室

資料室ニュース vol.60・61

わだつみのこえ記念館

わだつみのこえ記念館開館十周年記念 所蔵資料特別企画展 2016年(チラシ・冊子)

尼崎市立地域研究史料館

大阪大学荒田記念館 記念誌 1988、地域史研究一 尼崎市立地域研究史料館紀要一 第116号

大阪市公文書館

大阪市公文書館 秋の展示 政令指定都市60年 公文書に見る大阪市と大都市制度(チラシ・ポスター)

沖縄県公文書館指定管理者(公財)沖縄県文化振興会

沖縄県公文書館だより ARCHIVES 第51号

小布施町文書館

小布施町文書館だより Vol.4

神奈川県立公文書館

神奈川県立公文書館だより 第35号

京都府立総合資料館

総合資料館だより No.189

宮内庁書陵部

横浜開港資料館×宮内公文書館 平成28年度第3回企画展示 明治天皇、横濱へ(チラシ・ポスター)、横浜開港資料館・宮内庁宮内公文書館共催企画展図録 明治天皇、横濱へ 一宮内省文書が語る地域史一、昭和天皇実録 第八 自 昭和十五年 至 昭和十七年、昭和天皇実録 第九 自 昭和十八年 至 昭和二十年

国立公文書館

国立公文書館ニュース vol.7・8、福岡共同公文書館平成28年度特別展「国立公文書館所蔵資料展 公文書で再発見! 近代日本と福岡のあゆみ」(チラシ・ポスター)

札幌市総務局行政部公文書館

札幌市公文書館だより 第4号

滋賀県県民生活部県民活動生活課県民情報室県政史料室

滋賀のアーカイブズ 滋賀県県政史料室だより 創刊号

大東文化歴史資料館

DAITO WALK 1983-2016 Walk with you ウォークで綴る大東文化の歩み Calendar 2017、大東文化歴史資料館だより 第21号

東京都公文書館

東京都公文書館だより 第29号

栃木県立文書館

栃木県立文書館開館三十周年記念企画展 災害を乗り越えた下野の人々

長野県信濃美術館

西洋民藝の粹一生活を彩る道具たち一村田コレクションから(チラシ・招待券)

長野県立歴史館

夏季企画展 夢をのせた信州の鉄道一失われた鉄道の軌跡一、長野県立歴史館 平成28年度秋季企画展「文化の十字路 木曾の宝」図録、長野県立歴史館だより vol.88・89、一文化の十字路一木曾の宝(チラシ・ポスター・招待券)、平成28年度冬季展 信濃国の城と城下町一発掘調査が謎を解く一(チラシ・ポスター・招待券)

新潟市文化スポーツ部歴史文化課

新潟市歴史資料だより 第23号

八王子市市史編さん室

八王子市史叢書5 八王子写真民俗誌

福井県文書館

福井県文書館年報 第13号、文書館だより 第24号

福岡共同公文書館

福岡共同公文書館だより vol.09、平成27年度 福岡共同公文書館年報

福島県歴史資料館

福島県史料情報 第46号

和歌山県立文書館

和歌山県立文書館だより 第47号

大阪大学総務部

医療科学部構想、教育・研究体制の将来計画について(答申)、教養教育の改善に関する調査報告書 アンケート調査のまとめ及び資料、業績報告書 1997年6月～2001年3月、国立大学の講座及び学科目調、国立大学医学部附属病院医療事故 裁判例集、資料 A. 講演記録 B. 調査報告、昭和63年度 短期大学部教育法等改善経費 医科学・医療の進歩に呼応する新しい医療関連科学技術の教育研究のあり方について 報告書、新しい医科学体系の調査研究報告、大阪大学における共通教育、大阪大学医学部附属病院移転、大阪大学改革の方向(中間まとめ)、大阪大学外部評価報告書・2000、大阪大学全学共通教育カリキュラムに関するアンケート調査結果、大阪大学全学共通教育における施設・設備に関するアンケート調査結果報告書、大阪大学全学共通教育における不合格科目に関するアンケート調査報告書、大阪大学全学共通教育機構教育方法研究委員会報告、地域に生き世界に伸びる 大阪大学医学部・附属病院 移転の経緯、平成5年度 大阪大学教養部学生調査報告、平成6～14年度 講座及び学科目等の教員定員調、未来を拓く工学教育 大学院改革のための検討と提言 1991

大阪大学企画部

OSAKA UNIVERSITY PROFILE 2016(要覧)、阪大NOW No.150・151、大阪大学ニュースレター No.73

大阪大学教育・学生支援部

2017年4月阪大は4学期制を導入します。2学期制から4学期制(春・夏・秋・冬学期)に変わります。(チラシ・ポスター)、ティーチング・フェロー 教員向けご案内、大阪大学 平成29年度 学生募集要項 一般入試(前期日程)

大阪大学全学教育推進機構

2016年度大阪大学ファカルティ・ディベロップメントプログラムガイド 10月～3月

大阪大学男女協働推進センター

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型) 地域に生き世界に伸びる 女性研究者の持続的な育成と活躍推進に向けて(パンフレット)、大阪大学男女協働推進センターNEWS No.1

大阪大学適塾記念センター

適塾 第49号

大阪大学経営企画オフィス

第3回 人文・社会科学系研究推進フォーラム(チラシ・ポスター)、二頁だけの読書会 vol.7(チラシ)

大阪大学附属図書館

大阪大学図書館報 50巻1号、平成25年度 基礎工学研究科・基礎工学部 学外者による評価と提言 新世紀科学と技術のパイオニアを目指して

大阪大学大学院文学研究科・文学部

大阪大学文学研究科科目等履修生募集 芸術計画論演習 アート・都市魅力・未来(チラシ)

大阪大学医学部附属動物実験施設

IEXAS 施設便り 2016

大阪大学医学部附属病院

Handai Hospital 阪大病院ニュース 第63～65号、平成27年度 アニュアルレポート

大阪大学大学院歯学研究科・歯学部

SCHOOL OF DENTISTRY OSAKA UNIVERSITY OUTLINE 2016

大阪大学大学院言語文化研究科

言語文化共同研究プロジェクト2015 「文化」の解読(16)ー文化と権力ー、言語文化共同研究プロジェクト

2015 ポストコロニアル・フォーメーションズXI、言語文化共同研究プロジェクト2015 越境するレトリックー意味・認識・間テキスト性、言語文化共同研究プロジェクト2015 音声言語の研究10、言語文化共同研究プロジェクト2015 外国語教育の新しい局面(6)ーFacets of Foreign Language Teaching Todayー、言語文化共同研究プロジェクト2015 言語文化の比較と交流3、言語文化共同研究プロジェクト2015 最新の英語教育研究、言語文化共同研究プロジェクト2015 時空と認知の言語学V、言語文化共同研究プロジェクト2015 自然言語への理論的アプローチ、言語文化共同研究プロジェクト2015 相互行為研究②ー社会と文化、アイデンティティー、言語文化共同研究プロジェクト2015 電子化言語資料分析研究2015ー2016、言語文化共同研究プロジェクト2015 認知・機能言語学研究I、言語文化共同研究プロジェクト2015 批判的社会言語学の潮流、言語文化共同研究プロジェクト2015 表象と文化XIII、言語文化研究 42、言文だより 第33号ー言語文化研究科2015ー、大阪大学大学院言語文化研究科要覧2016

大阪大学大学院高等司法研究科

大阪大学大学院高等司法研究科ニューズレター No.18

大阪大学産業科学研究所

第20回 大阪大学産業科学研究所国際会議・第15回大阪大学産業科学研究所産業科学ナノテクノロジーセンター国際シンポジウム(日本語版・英語版)(チラシ・ポスター)

大阪大学蛋白質研究所

Prospectus Institute for Protein Research Osaka University 2016、大阪大学蛋白質研究所 要覧 2016

大阪大学低温センター

大阪大学低温センターだより No.166、平成27年度共同利用研究成果報告書

大阪大学環境安全研究管理センター

環境安全ニュース No.58・59

大阪大学総合学術博物館

(具体)再考 第1回 1950年代の前衛グループ(チラシ)、演劇公演「まだ生きてゐる」(チラシ)、大阪大学総合学術博物館 第20回企画展 重建懐徳堂開学100周年

記念 大阪の誇りー懐徳堂の美と学問ー(チラシ・ポスター)、大阪大学総合学術博物館 年報 2015、展覧会「記憶の劇場」(チラシ)、湯川博士と大阪大学、平成28年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業交流する大学ミュージアムを目指してー大学の扉を開くー 大学ミュージアムをめぐるシンポジウム みんなのヒストリーみんなのミュージアム(チラシ)

大阪大学科学機器リノベーション・工作支援センター

科学機器リノベーション・工作支援センター ニュースレター Vol.10、大阪大学科学機器リノベーション・工作支援センター(パンフレット)

大阪大学国際教育共通事務室

2015年度 年報、2016年度 留学生日本語プログラム履修ガイド、CIEE Center for International Education and Exchange(リーフレット)、第24回 大阪大学・地域団体ボランティア留学生支援連絡協議会報告書

大阪大学サイバーメディアセンター

大阪大学サイバーメディア・フォーラム No.17、大阪大学サイバーメディアHPCジャーナル No.6

懐徳堂記念会

大阪大学総合学術博物館 第20回企画展 大阪の誇り懐徳堂の美と学問(チラシ)、第132回懐徳堂秋季講座よりよく生きるために(チラシ)、平成29年度懐徳堂古典講座 受講生募集(チラシ)、平成29年度第133回懐徳堂春季講座 豊臣から徳川へー転換期をめぐる歴史学最前線ー(チラシ)

咲耶会(大阪外国語大学・大阪大学外国語学部同窓会)

会報「咲耶」No.27(2016)、平成28年咲耶会総会・懇親会(チラシ)

菅真城(大阪大学)

生産と技術 Vol.68No.4・Vol.69No.1

業務日誌(抄) (2016年9月～2017年2月)

2016年

- ・ 9月2日 木本幸子氏から資料受贈
- ・ 9月14日 法人文書の管理に関するセミナーを開催。京都大学大学文書館教員1名が視察
- ・ 9月16日 附属図書館から所蔵資料について照会
- ・ 9月21日 井上了氏から資料受贈
- ・ 9月26日 菅、東京出張。記録管理学会第198回理事会に出席
- ・ 9月28日 愛媛大学図書館から歴史資料等の所蔵および利用方法について照会
- ・ 9月30日 『大阪大学アーカイブズニュースレター』第8号を刊行
- ・ 10月5日 総長通知「大阪大学の持続的な発展を支える組織に向けて」への回答の件で鬼澤理事と面談
- ・ 10月12日 総長通知「大阪大学の持続的な発展を支える組織に向けて」への回答の件で三成理事と面談
- ・ 10月13日 経済学研究科・経済学特講(文書学Ⅱ)開講
- ・ 10月29～30日
菅、東広島出張。2016年度広島史学研究会大会(広島大学)に出席し、「旧制浪速高等学校奉安庫に関する考察」研究発表
- ・ 10月31日 名誉教授インタビュー(川北稔名誉教授)のビデオ撮影

- ・ 11月4日 田間恵實子氏から資料受贈
- ・ 11月9日 生田美智子氏から資料受贈
- ・ 11月10日 菅、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国(三重)大会(フレンテみえ)に出席
- ・ 11月11日 伊藤偵之氏から資料受贈
- ・ 11月30日 菅、東京出張。第199回記録管理学会理事会に出席
- ・ 12月7日 中国新聞社林淳一郎記者が取材
- ・ 12月13日 菅、津出張。全国大学史資料協議会西日本部会2016年度第4回研究会(三重県総合博物館)に出席
- ・ 12月31日 石崎光穂事務補佐員退職(文書管理室)

2017年

- ・ 1月1日 伊丹英樹事務補佐員採用(文書管理室)
- ・ 1月25日 第8回アーカイブズ運営委員会を開催
- ・ 1月28日 菅、日本アーカイブズ学会2016年度第2回研究集会(あおぞら財団)に出席
- ・ 2月6日 菅、東京出張。第200回記録管理学会理事会に出席
- ・ 2月22日 九州大学附属図書館員から旧職員の履歴について照会

『金森順次郎第十三代大阪大学総長回顧録』を刊行

大阪大学アーカイブズでは、金森順次郎元総長の自伝や式辞・告示などを集めた『金森順次郎第十三代大阪大学総長回顧録』を大阪大学出版会から刊行しました。最寄りの書店でお求めになれます。大阪大学出版会のHP (<http://www.osaka-up.or.jp>) から内容紹介を引用します。

内容紹介

物性理論の世界的権威であり、大学行政等でも多大な功績を遺された金森順次郎第13代大阪大学総長の回顧録。本書は、ご自身の書かれた自伝「新・未知への群像」、「物の理を求めて60年」や総長時代の式辞・告辞、その顕彰に尽力された「適塾の遺産と学問のこれから」などから成り、様々な角度から先生の姿を映し出す記録であるとともに、学問に対する情熱、天才、感性、温かなお人柄をうかがい知ることができる一冊である。

目次

- 第一章 新・未知への群像
- 第二章 物(もの)の理(り)を求めて六十年
- 第三章 式辞・告辞
- 第四章 新春を迎えて
- 第五章 適塾の遺産と学問のこれから
- 第六章 金森順次郎先生逝く
 - 作文上の美学を追究するなかれ
- 前大阪大学総長金森順次郎博士功績調書
- 金森順次郎大阪大学第十三代総長略歴
- 初出一覧 あとがき 人名索引



『金森順次郎第十三代大阪大学総長回顧録』

大阪大学アーカイブズ、飯塚一幸、菅真城編
大阪大学出版会
2017年3月 四六判 184ページ 上製
定価 2,400円+税
ISBN 978-4-87259-574-1

大阪大学アーカイブズ兼任教員一覧

平成29年3月1日現在

【法人文書資料部門】

- 高橋 明男 (法学研究科・教授)
- 瀧口 剛 (法学研究科・教授)
- 三阪 佳弘 (高等司法研究科・教授)
- 藤本 慎司 (工学研究科・教授)
- 中村 征樹 (全学教育推進機構・准教授)
- 阿部 浩和 (サイバーメディアセンター・教授)

【大学史資料部門】

- 竹中 亨 (文学研究科・教授)
- 田口宏二郎 (文学研究科・准教授)
- 友部 謙一 (経済学研究科・教授)
- 廣田 誠 (経済学研究科・教授)
- 進藤 修一 (言語文化研究科・教授)
- 松永 和浩 (適塾記念センター・准教授)

大阪大学アーカイブズ運営委員会委員一覧

平成29年3月1日現在

- 飯塚 一幸 (委員長、アーカイブズ室長)
- 菅 真城 (アーカイブズ・教授)
- 高橋 明男 (法学研究科・教授)
- 廣田 誠 (経済学研究科・教授)
- 藤本 慎司 (工学研究科・教授)
- 橋爪 節也 (総合学術博物館・教授)
- 下敷領 強 (総務部長)
- 井上 修 (附属図書館事務部長)

